

1. 評価報告概要表

作成日 平成 年 月 日

【評価実施概要】

事業所番号	1070700222
法人名	医療法人上野会
事業所名	グループホームつどい
所在地	群馬県館林市赤生田町2042 (電話) 0276-76-7770

評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成19年8月6日

【情報提供票より】(19年 7月 7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 9月 1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	13 人
利用定員数計	18 人
常勤	11 人
非常勤	2 人
常勤換算	11

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	1階建て	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	日額1500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 100 円
	または1日当たり		1250 円

(4) 利用者の概要(7月 7日現在)

利用者人数	18 名	男性	0 名	女性	18 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	3 名	要支援2	名		
年齢	平均 85 歳	最低	67 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	うえの医院 上野歯科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域密着型としての理念は現在検討中とのことだが、基本的には、「たのしく、いっしょに、その人らしく」「もう一つの自宅」を合言葉に家庭的な環境の中でその人らしい自立した生活が送れるよう職員がケアを行なっている。また管理者は医師であるため、いつでも対応が可能であり、関連の併設施設、医療機関の理学療法士、作業療法士、管理栄養士、看護師等の専門職員とホーム職員との連携関係がある。開所時から入居している利用者が多いため、家族、本人、職員も顔馴染みで安心して毎日の生活を送ることができている。看取りも現在まで、6名行なっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	サービス評価の意義や目的を全職員が把握しその結果をふまえて、要改善となった箇所については管理者、運営者、全職員で話し合いをもち、改善に努めている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は全職員揃っての話し合いができず、十分でないままの提出になってしまった。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1度開催しており、最近の討議内容はスプリンクラーの導入、介護ベットの導入等の要望がある。双方向の会議になるように参加者全員で活発な意見交換をおこなっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会はないが、家族同士の交流があり、その中での苦情、意見を管理者または職員に話している。家族からの意見、苦情については、会議内で取り上げ、具体的なケアや運営に反映している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	併設施設との交流はあるが地域との連携は少ない。近隣との催事には、単発的な参加はあるが、継続的ではない。開所して6年、当時より入居している利用者が多いため、入居者の高齢化、認知症の進行、日常生活動作の低下等があり、地域との連携は限られている。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開所して6年「たのしく いっしょに その人らしく」また、「もう一つの自宅」を合言葉に家庭的な環境の中でその人らしい自立した生活が送れるよう適切な支援と必要なケアを行なっている。	○	地域密着型サービスとしての理念はまだ作り上げていないので、これから全職員協力して、作成されることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時には、必ず理念を伝え理解してもらえるようにしている。理念は玄関、事務所、休憩室等に掲示しており、また、月1回の定例会議、朝の申し送り、ミーティング等で利用者の関わりの振りかえりをし、理念に結びつけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	医院、特養、ケアハウス等が併設で、施設間の交流はあるが、老人会、自治会等との交流はない。地区育成会の廃品回収への参加、近くの神社の清掃にも参加したことがあるが、継続参加が出来ていない。	○	開設時から入居している利用者が多いため、身体機能の低下が著しく、活動参加も困難とは思われるが、今後は地域の一員として、地元の活動や地域住民との交流に積極的に取り組んで行かれることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員が把握し、その結果をふまえ、要改善になったところに関しては、管理者、運営者、全職員で話し合い改善に努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催しており、利用者、家族、民生委員、区長、市の職員、ホームの職員、管理者が参加し、ホームの活動報告や意見、要望、質問、アドバイスを受け、双方で意見交換できるような会議になっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	館林市市役所福祉課に、毎月ホーム便りを郵送している。	○	毎月のホーム便りの郵送以外にもホームの考え方や実態をよく知ってもらい、運営上の課題解決やサービスの質の向上に共に取り組めるための関係づくりを積極的に行い、協働関係を進めていただきたい。
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回発行しているホーム便りとともに利用料納金で家族がホームに訪れた際は必ず、近況、全般の生活ぶり等を報告している。また面会訪問の少ない家族については、電話にて月1回報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の家族会はないが意見箱を設置したり、利用者家族の面会がある場合はホーム長または職員が声をかけ、意見・苦情・不満を聞くように努めている。その意見を実際のホーム運営にも活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームでは異動や離職・入職がやむを得ない場合は、お便りでお知らせしている。またお別れ会を開催する等、利用者には「節目」を理解してもらいダメージ軽減に努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	併設の施設、医療法人等があるため、研修を受ける機会は多く、一人の職員が年最低2回は出席している。パート職員にもチームの一員として、研修、会議等には、積極的に参加している。研修報告書は全職員が閲覧できるようにしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホームは地域密着型サービス連絡協議会のサービス向上委員会に入会していて、そこでの研修、意見交換会、情報交換会等に参加し、情報交換をしている。また、他の研修会においても同業者との交流を持っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者本人や家族が事前に事業所を見学してもらったことからはじめ、その後本人・家族も数回ホームを訪問して、安心、納得して利用していただけるよう話し合いをもち、入居していただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側にとらわれないよう、職員は「利用者から学びましょう」を合言葉にして、日々、食事準備や後片付け等お互いが協働しながら生活ができるように場面づくりや声掛けをしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日々のかかわりの中で声を掛け、一人一人の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。また、言葉や表情、しぐさ、行動の中から本人の要望を引き出すようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者にはそれぞれ決まった担当の職員がいて、状態等の把握をしている。また、その職員中心に日頃のかかわりの中で、思いや意見を聞き、月一回の会議で介護計画担当者が情報をとりまとめ介護計画に反映させるようにしている。訪問が少ないご家族には電話にて意見や内容を確認している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員は利用者の状態、状況の変化を確認し、変化がみられた場合は会議を開き、随時ケアプランの見直しをしている。変化がみられない場合でも、3ヶ月に1度は見直ししている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医院、特養、ケアハウス等と併設しているため、併設施設の設備を借りて機械浴対応をしたり、急な医療はすぐに対応することができる。また、併設診療所との連携からリハビリ、看護、栄養等専門職の意見を聞き指導、助言も受けることが出来る。家族の状況に応じて病院受診の付き添いを行うなど柔軟な支援ができています。		
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の希望でかかりつけ医に受診することもでき、ホームの併設医院にほぼすべての診療科があり、そこでの対応も可能である。またその医院での定期的受診のほか、利用者の変化や健康面で心配事がある場合はすぐに受診でき、往診にも対応している。受診後家族に情報伝達も行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する対応指針を定め、家族、医師、看護師、ホーム職員を交えて、その都度話し合いを行なっている。家族にもホームが対応し得るケアについて、説明を行なっている。開所から6人の看取りを行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人前での介護、トイレ誘導の声掛けにも目立たずさりげない言葉掛けや対応に配慮し、「適切でない言葉」の掛け方をせず、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように注意している。普段より全職員に個人情報保護法の理解や情報の漏洩防止についての確認もしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員のペースですすめることなく一人ひとりのペースを大切に、散歩、買い物、レクリエーション等、利用者個々の状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて、テーブルを拭く、おはしを並べる、座ってできる作業(野菜の皮むき)は手伝っていただいている。ミキサー食の利用者からも、一人ひとりの好みを聞いている。職員は朝・昼・夕と同じテーブルについて、同じ食事を一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほとんどの利用者が、昼間の決まった時間に入浴している。	○	利用者のこれまでの生活習慣や希望を確認し、入浴できるような体制を整えていただきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、毎日の暮らしを共にする中で、ひとり一人にあった楽しみを見つけ、その支援をしている。詩吟を披露する場を設けたり、習字をしたり、おしゃれのため洋服を買いに出かける等、それぞれの利用者の活力を引き出している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、季節等に影響されるが、散歩に出かけたり、年2～3回は併設施設の車を借りて(車椅子対応)、ショッピングセンターへ買い物に行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関を出るとチャイムが鳴るようになっており、居室及び日中の玄関のガキは掛けず、職員が利用者の見守りを徹底して対応している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防防火訓練、月1回の自主避難訓練を行っている。併設法人全体が内線でつながっており、災害時すぐに対応できる。地域の人々への協力もお願いしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士が献立を立てている。水分補給については、お茶、麦茶などを用意して、入浴後、食事の時間、おやつの時間等に、必ず飲むようにしている。食事摂取量・水分摂取量は申し送りノートに記入し職員が共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間にはソファがあり、利用者にとって居心地の良い落ち着いた空間となっている。また廊下には、小さなテーブルと椅子のセットがおかれ、壁には、利用者の写真、作品等が飾られていて憩いの空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス、椅子、仏壇、写真、使い慣れた日用品等入居者の好みやなじみの物を持ち込んで、その人らしい居室づくりになっている。		